

では皆さん
今日は一日
リバーサップを
楽しみましょう！

わいわい

楽しみだねー

ぞわぞわ

インストラクター

こなふうに



ボードには
膝立ちで
乗りましょう

バランスが
大事ですがもし
落ちちゃっても
大丈夫ですよ

インストラクター

※静水で安全な乗り方の講習から始めます



あー！
分岐が！

考えこらるど
流されちゃうまじやー

皆さんお好きな
ルートに進んでください



速い流れを
楽しみたいから
俺は左に挑戦する！

わ、私は
安全そうな
右にする

川辺が良いかなあ

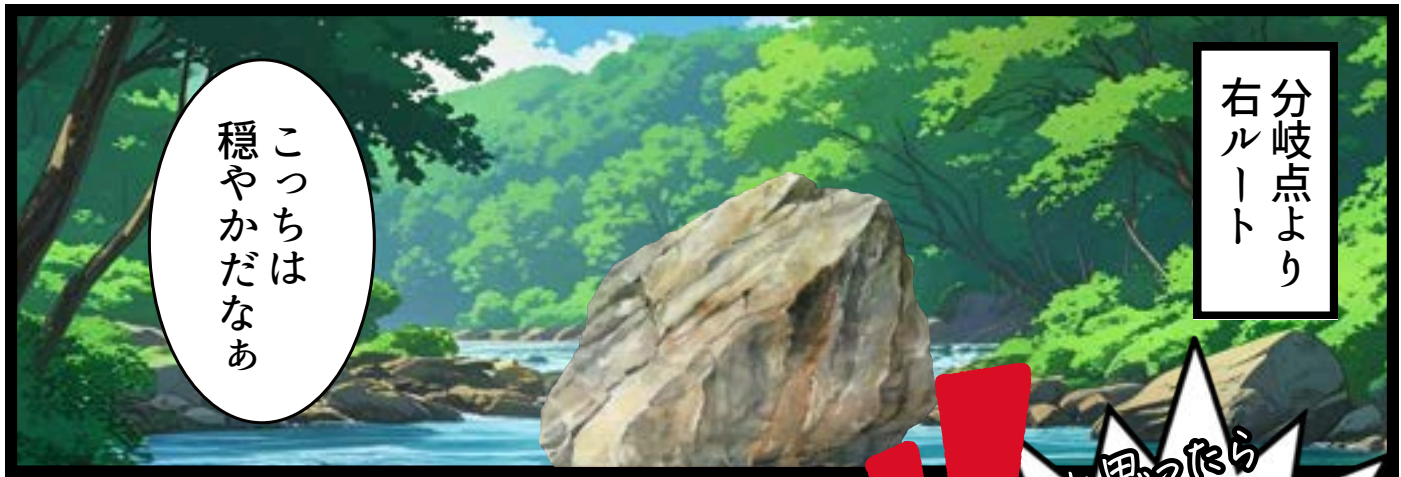


わいわい

ざわざわ

分岐点より
右ルート

こっちは
穏やかだなあ



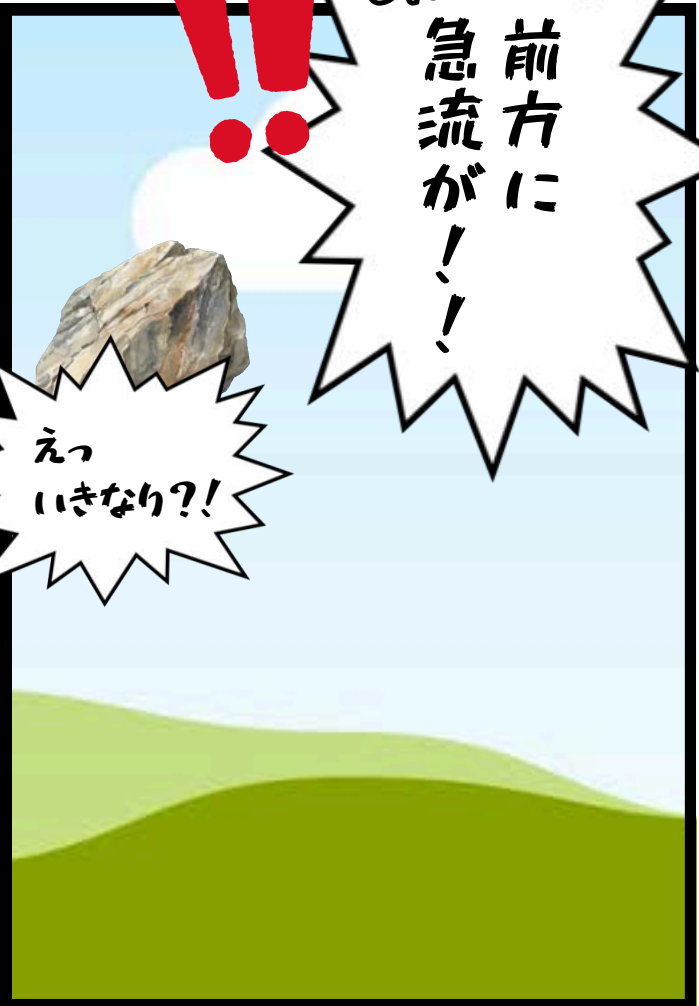
と思ったら

前方に
急流が！



えっ
いきなり?!

大丈夫ですよ
怖い人はボードに
しがみついちゃって
ください!

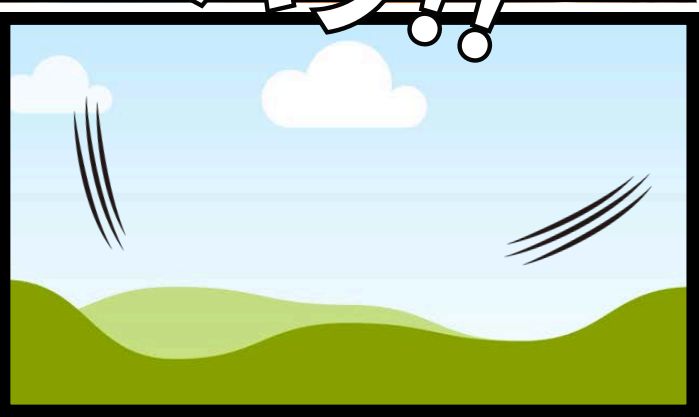


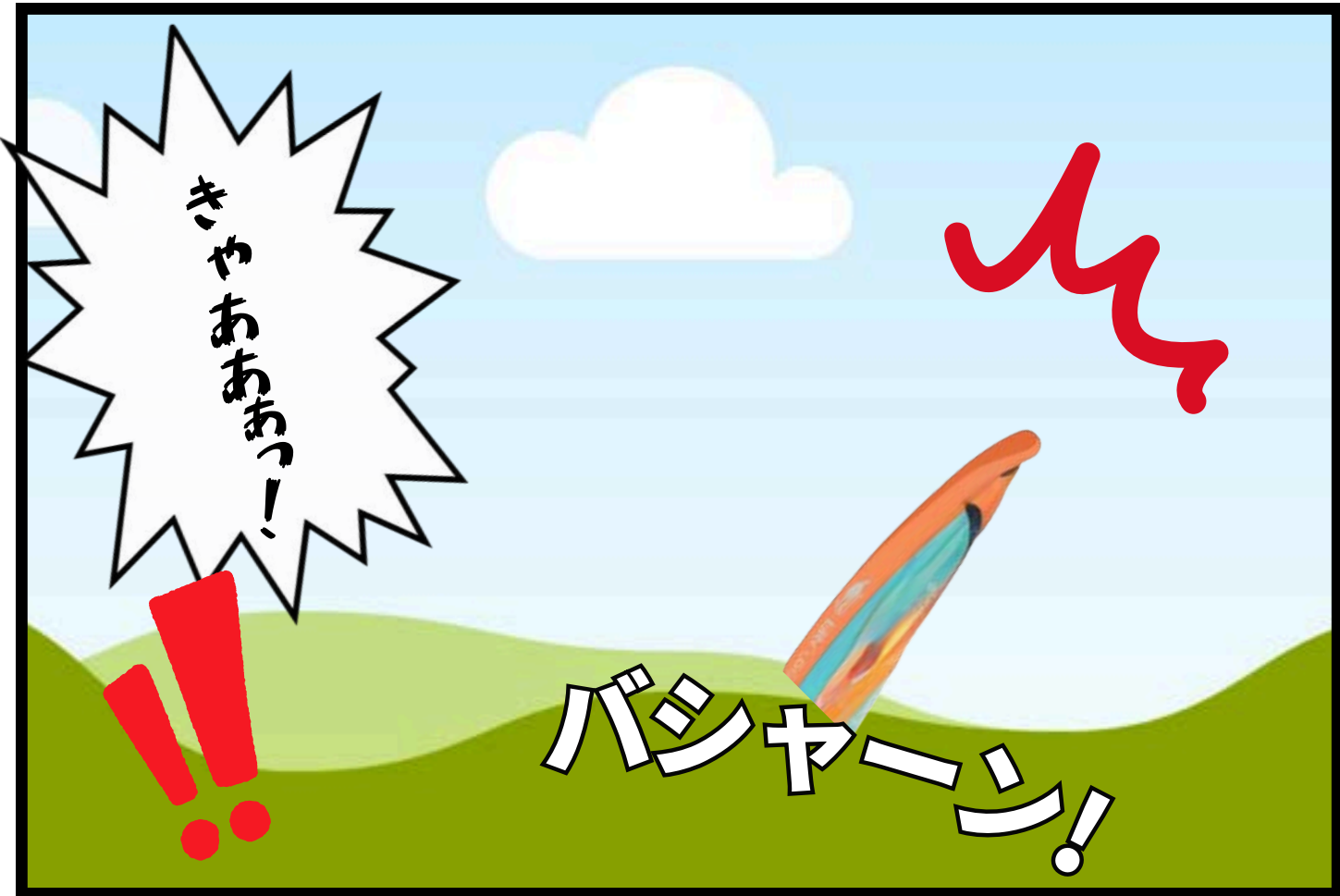
きゃっ!
バランスが...!



でらっ

バツ!!





あの岩を越えたら
もっと速い流れが
ありそう！

思いつきり
楽しむぞ〜！



ワクワク♪



キョロキョロ...

ゲッ...
浅瀬だ...

あつ...
あれっ？



ジャンプして
引っ掛かりを
取りましょう！



ボードが
引っかかっちゃった...

降りるしか
ないか〜

どうする？



あっ！！
動いた！



こっぴがな？

ゆさゆさ

サップボードの上で
四つん這いになって
ジタバタしてみましょう

その頃
右ルートチームは…

エディに
入りましょう

落ち着いて！
ライフジャケットが
あるから大丈夫！
ボードとパドルが
邪魔だったら手放して
良いですよ

ありがとう
ございます…

ちよつと
焦りました

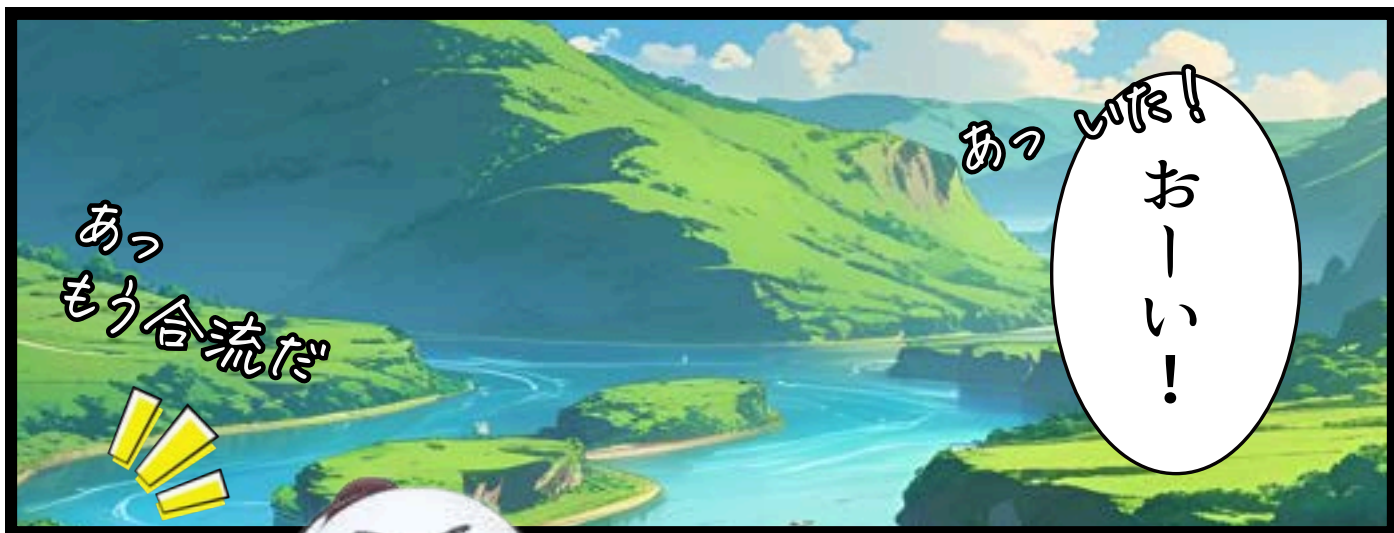


大丈夫？

少し水を
飲みましたが
大丈夫です

心配かけて
ごめんね…

大変だったね



あっ
もう合流だ

あっ いた!

おーい!



残りは穏やかな
流れです

ここからは
景色を楽しみながら
ゴールまで
行きましょう



皆さんまずは
お疲れ様でした!



ゴールだあ
お疲れ様

お疲れ様

どちらのルートも
正解でした

大切なのは
状況をよく観察し
決断して
行動したこと

皆さん
素晴らしいです

どんな形であれ
ここまで下って
これたことが
成功です！

わー!!!

パチパチパチ

陸に上がって
振り返り

キヤツキヤツ

ワイワイ

かやかや

皆さん
今日はお疲れ様でした

今日の体験を
振り返ってみましょう
どんなことを感じ
学んだか共有してください





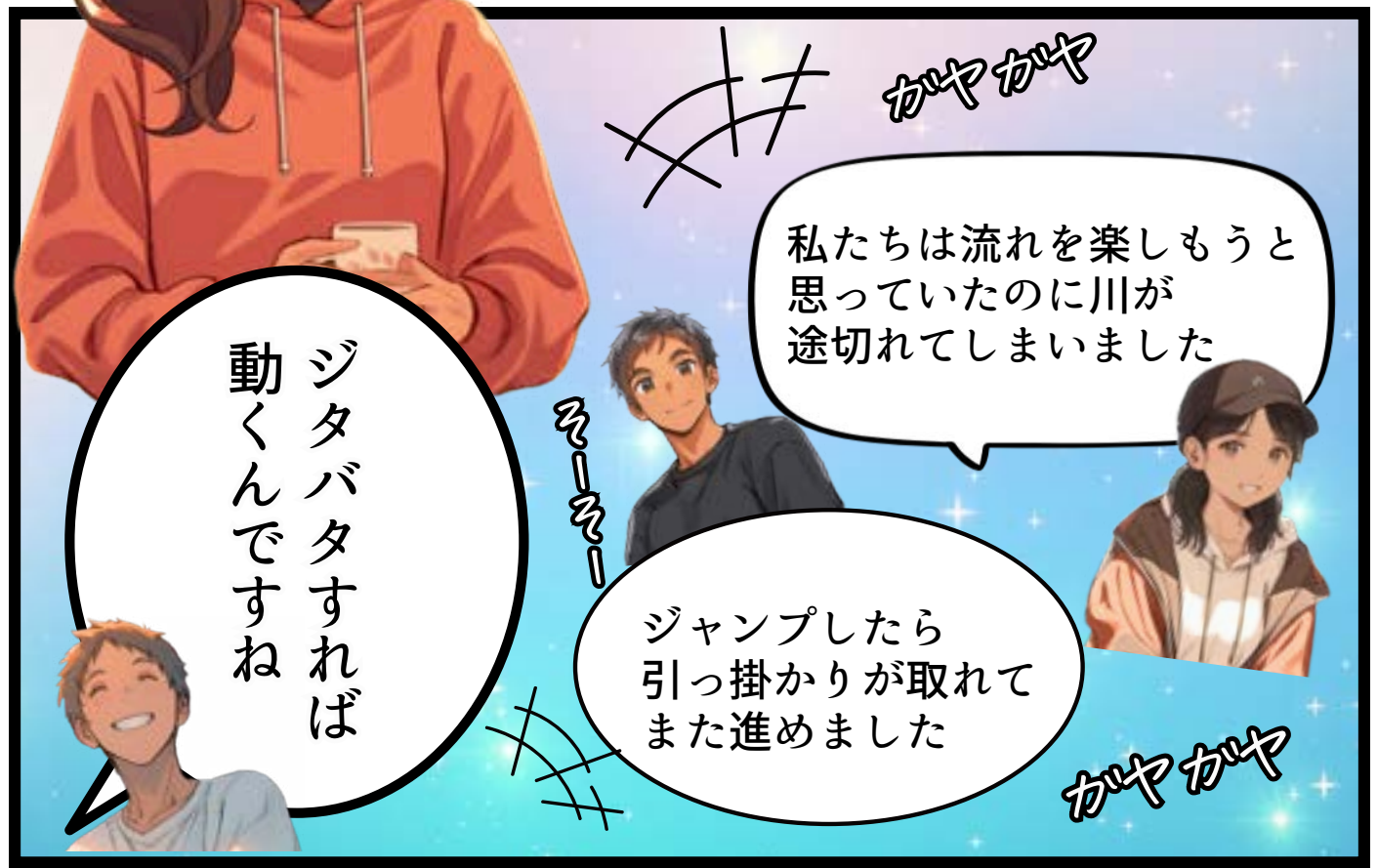
…穏やかだと
思っていたルートに
予想外の急流があって
驚きましたね

あれはびっくり
したよねー

私はボードから落ちてしま
いましたがライフジャケットも
あるし慌てずに流されれば
緩やかなところに出るんです

えー！
そうだったの？

うんうん



かやかや

私たちは流れを楽しもうと
思っていたのに川が
途切れてしまいました

ジャンプしたら
引っ掛かりが取れて
また進めました

ジタバタすれば
動くんですね

かやかや

ハーン！



実はそうなんです！
では皆さんのビジネスに
置き換えてみましょう！

何となく
仕事と同じだな
と感しました



ビジネス

リバーサップ



リバーサップとビジネスには
実は多くの共通点があります
皆さんが今日実践したのは
ビジネスでも重要な
プロセスなんです！

観察して
方向づけをし
決断して行動する

これを
『OODA』
と呼びます



図解で
分かる

OODAサイクル

Action (行動)

決定を実行し
結果を観察します



Observe (観察)

環境や状況を観察し
情報を収集します



なるほど!

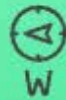
Decide (意思決定)

観察と方向付けに基づいて
行動を決定します



Orient (方向付け)

情報を分析し
状況を理解します



そろそろです!

将来を見通すことは
実際のビジネスでも
難しいですね!

皆さんも今日
何とか乗り越えましたよね!

大事なものは
問題が起きた時に
なんとかすること!

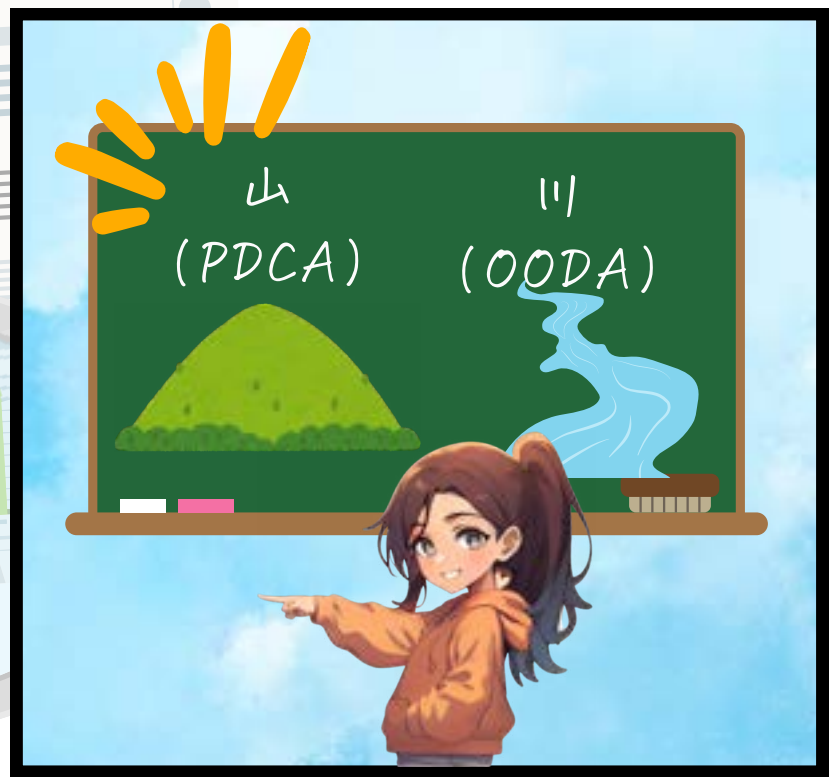
思い返せば
先月の顧客対応は
OODAだったかも...

大口顧客と
契約になって
ラッキーと思ってたら
すごく大変だった

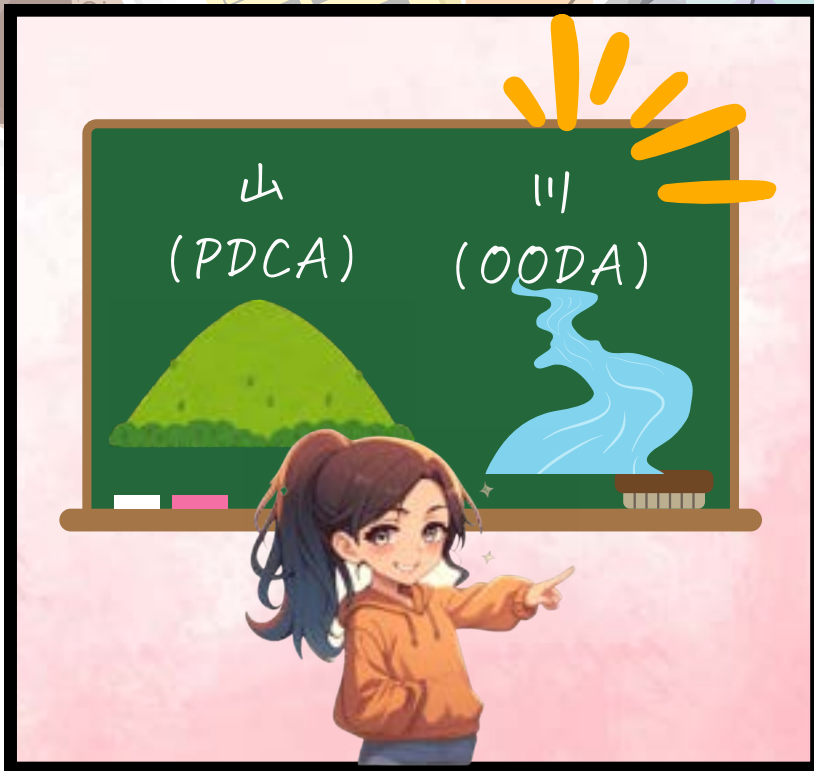
Ugh



従来のビジネスでは
PDCAサイクルが
重視されてきました
PDCAは山登りのようなもの
計画を立てチェックしながら
修正できます

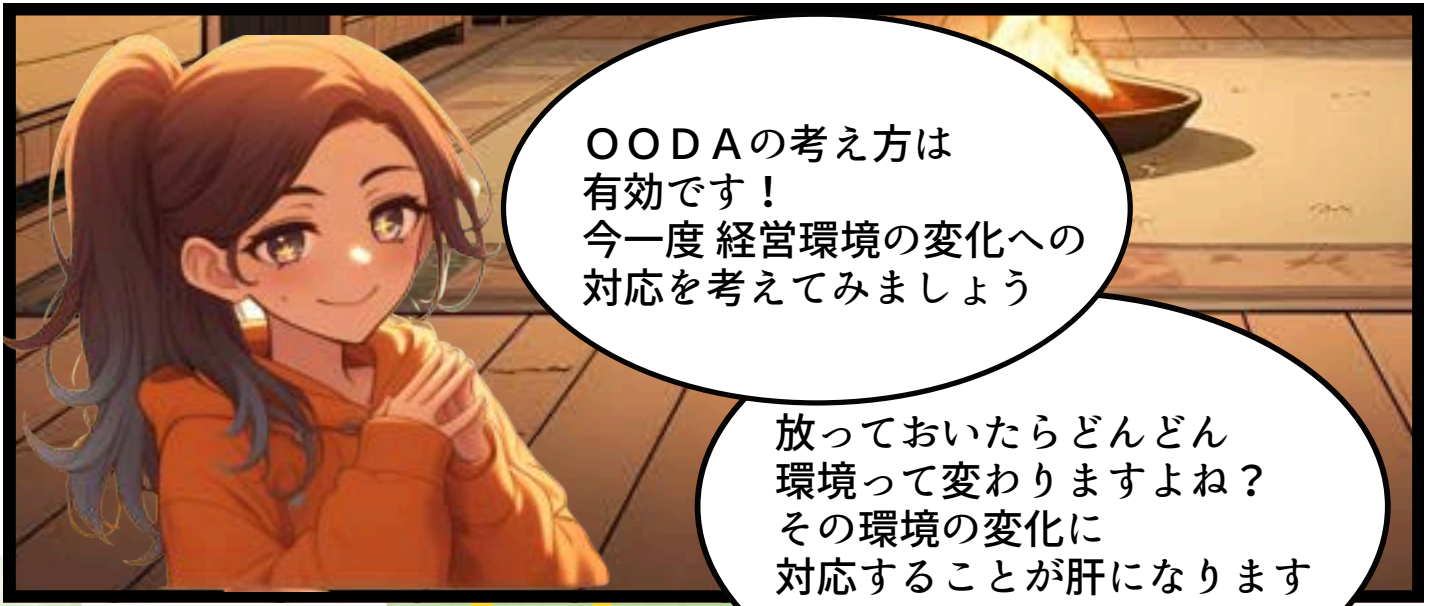


一方OODAは
川下りのようなもの
状況は常に変化しリアルタイムの
判断が求められます
川は止まりません
それが山と違うところです



なるほど
PDCAとOODAは
違うんですね！



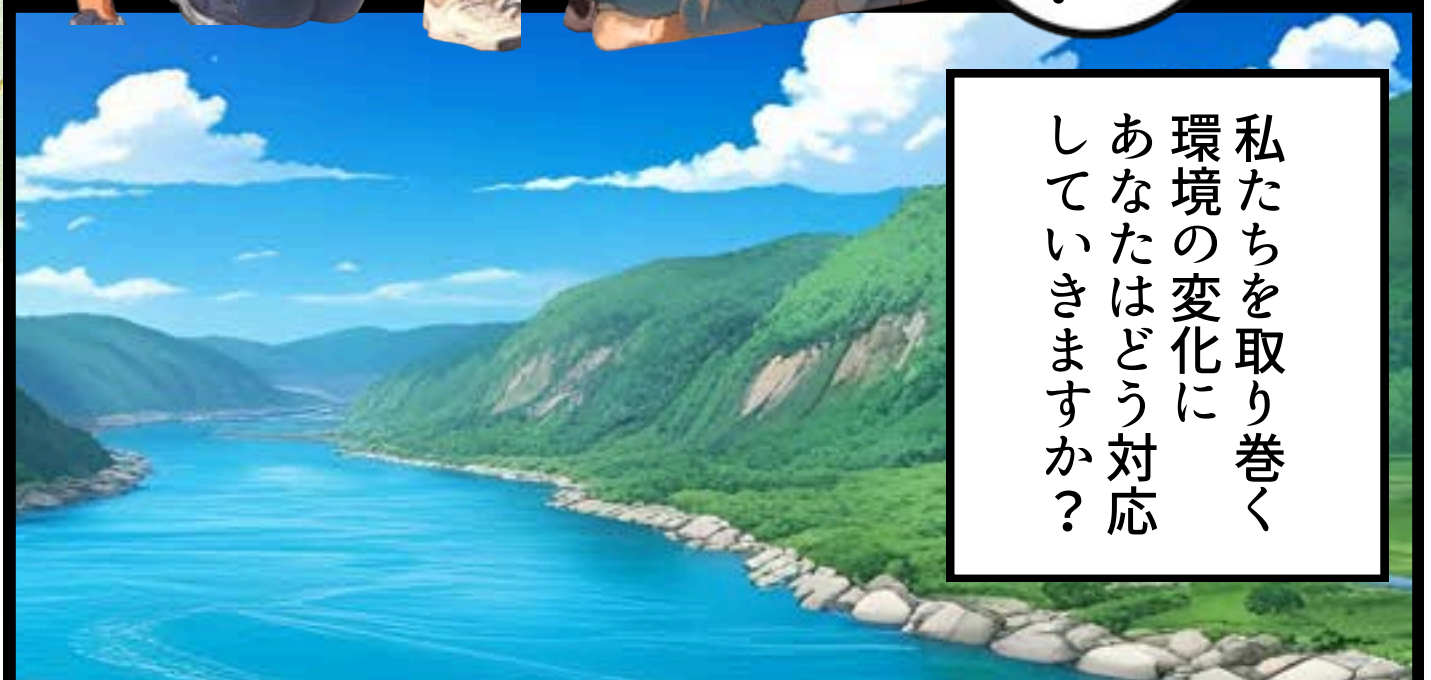


OODAの考え方は有効です！
今一度 経営環境の変化への対応を考えてみましょう

放っておいたらどんどん環境って変わりますよね？
その環境の変化に対応することが肝になります



体で感じると
腹落ちも
違えますね！



私たちを取り巻く環境の変化に
あなたはどうか対応していきますか？

経営環境の変化に対応できる組織やリーダーを生み出すことも大切なことではないでしょうか？